

MGU Chapel Letter

—第 19 号 2023 年 1 月 5 日— 発行：大学宗教センター

2022 年度聖句

「主の慈しみは決して絶えない。

主の憐みは決して尽きない。」

哀歌 3 章 22 節



❖ 大学礼拝 1 月のスケジュール！

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

1 月の礼拝日程（説教者の氏名 ※敬称略）

- ・1 月 11 日（水） 佐藤 由子 （仙台南伝道所牧師）
- ・1 月 16 日（月） 佐々木哲夫 （理事長・学院長・宗教総主事）
- ・1 月 18 日（水） 栗原 健 （大学宗教センター長）
- ・1 月 20 日（金） 末光 眞希 （学長）

1 月 20 日（金）で今年度の大学礼拝は終了です！！
礼拝レポートの課題がある学生は忘れないように！！

- * 聖書・讃美歌をお持ちください。
- * 金曜日は音楽科学生がオルガン奏楽の奉仕をいたします。

ありがとうございました

12 月には、大学クリスマス礼拝（8 日）、クリスマスを祝う音楽会（10 日）、公開クリスマス礼拝（23 日）が礼拝堂で行われ、多くの人に参加しました。賛美演奏や奉仕をして下さった音楽科、大学聖歌隊、大学・中高ハンドベルクワイア、大学 YWCA の学生、その他ご協力下さった皆様に心より御礼申し上げます。

✦ 毎年のことですが… ✦



あけましておめでとうございます。元日の朝には、心が新たにされるような新鮮な気分がしますね。「一年の計は元旦にあり」と言いますが、「今年はこのようにしたい!」という新年の抱負を考えた人も、多いのではないのでしょうか。

では、ここで質問です。皆さんは、昨年のお正月に立てた目標を覚えているのでしょうか。

私を含めて、90パーセント近くの人には覚えていないと思います。大体、こういうことは2月ぐらいには忘れていくことがふつうですね。

これは決して私たちだけの話ではないです。1930年(昭和5年)のお正月に、本学の前身である宮城女学校の生徒が作ったという短歌が今でも残っています。

「元日の 初日の光 身に浴びて 今年こそはと 力む我かな」

「今年こそやるぞー」と気合いを入れているのですが、「今年こそは」と言っている時点で、昨年も、おそらくその前も失敗しているということが想像できます。

実は、聖書もある意味で、「今年こそは」という人々の物語と言えます。

旧約聖書は、イスラエル民族の歴史を描いています。彼らは、「私たちは神様に従いたい。正しく生きて神様と一緒に歩みたい」と決意した熱い人たちでした。しかし、彼らの決意は長続きしません。しばらくすると彼らは正しい道からズレてしまい、派手な失敗をすることになります。彼らは真摯に反省して、「今度こそ神様に従います」と心に誓うのですが、じきにまた同じことをしてしまう。この繰り返しです。

そんな彼らのことも、神は見捨てませんでした。「彼らが私のもとに来られないのなら、私が彼らのところに行こう。彼らが私と歩めなくても、私は彼らと歩もう。」それが神の思いでした。その結果、救い主イエスとして神はこの世界に来られたのです。

この神の愛があるから、私たちも、たとえを失敗しても立ち直ってまたチャレンジすることができるのです。神が人間のことをあきらめなかった以上、私たちも、自分自身のことをあきらめてはいけません。それが、聖書が示していることです。

旧約聖書の「哀歌」に、「主の慈しみは決して絶えない。主の憐れみは決して尽きない。それは朝ごとに新たになる」(3章22節~23節a)という言葉があります。「神の愛はいつも心を新たにしてくれる。だから私たちも、新しくやり直すことができる」と語りかけるものです。この希望をもって、新しい年を歩んで行きましょう。(栗原)

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL : 022-279-9558

Email : christ-c@mgu.ac.jp